災害時、日ごろの行動が的確な行動に

昭和三十九年六月十六日、新潟地方を中心に東日本一帯に強い地震が発生。マグニチュード七・七、新津市では新関中学校の建物が一部陥没したほか、住宅の半壊十件など大きな被害を受けました。また、この年七月に入ると、これに追い討ちをかけるように、今度は集中豪雨に見舞われ、床上浸水二十八件、床下浸水二百十四件の被害を受けました。その後の統計をみても、この時季は特に災害が多いシーズンといえそうです。

災害はいつ、どこで起きるか予測できない場合がほとんどです。特に、平日の昼間は地域構成が主婦と幼児、高齢者となってしまうため発生の対応は困難を伴います。この点を踏まえ、いつ襲ってくるか分からない地震や豪雨に備えましょう。

地震はいつ起こるか分かりません。そして、大きな地震になればなるほど、だれもがあわてます。こうしたとき、ふだんからの防災意識が役に立ちます。

①まず身の安全

地震は、1分過ぎればまず安全。テーブルや机の下などで様子をみましょう。

②素早く火の始末

ガスは元栓まで閉め、電気器具はコードを抜く。揺れがおさまった後の点検も大切。

③あわてて外に飛び出すな

あわてて飛び出すと、落下物や倒壊物でケガをします。子どもには声をかけて安心させましょう。

④出火したら素早く消火

天井に燃え移らないうちに消火しながら、大声で近所に知らせましょう。燃え出してから1分が勝負です。

⑤出口を確保

特に団地、マンションでは扉が開かなくなることがあります。閉じ込められないように。

⑥隣近所で協力し合う

自分勝手に動かず、声を掛け合い、消火や救護活動を。

⑦塀や壁などに近寄らない

ブロック塀、石塀、門柱、がけ、川べりなどから急いで離れましょう。

⑧ガラスの破片に気をつけて

室内では割れて飛び散った食器、照明器具に注意。野外では建物から降ってくる窓ガラスの破片から頭を守りましょう。

⑨お年寄り、病弱者、幼児を守る

子どもやお年寄りを優先して避難させましょう。病人が動けない場合は布団をかぶせ安全な場所へ。乳幼児は抱きかかえて。

⑩歩いて避難する

交通はマヒ状態になり、自動車による避難は不可能です。外に出るときは、防災頭巾や座布団などで頭を保護しましょう。

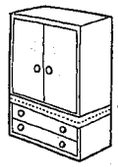
あわてずに!! イザというときの10か条

2 家の中の事故を防ぐために

①家具転倒防止の方法

●重ねてあるタンス
接続部を粘着テープや金具で止めたりして固定します。

●背の高い家具
安全バンドや転倒防止金具で固定します。

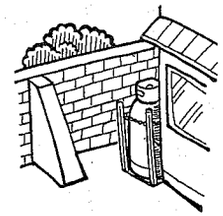


②収納の工夫

●棚や家具の上のような高いところには、重い物を置かないことを心掛けます。

●本棚や食器棚には、重いものは下に、軽いものは上に収納します。

3 家の外周りの安全を確保するために



●プロパンガスのボンベをしっかり固定します。
●ブロック塀や石垣はくずれないよう補強します。
●立ち木が倒れないように支柱を立てます。

お買物、ご用命は市内で

＝好評発売中＝

日本海名産 甘えび パイ
北風小僧 登録商標 ®
日本海でとれた新鮮な甘えびをパイに折込んだ風味豊かなパイのお菓子です。カルシウムのたっぷり入ったパリッとした日本海の風味をご賞味下さい。
にいつ 本町2 ☎22－0112 サカヤ

忘れるな！土砂災害の恐ろしさ

＊－6月は土砂災害防止月間

梅雨どきや台風シーズンは、集中豪雨などによる被害が心配されます。地形的に災害の発生しやすい地域では、強い雨が降ったり、雨が長く続くときは注意が必要です。日ごろから家の近くや山やガケ、川などをよく点検し、防災意識を高めておきましょう。

なお、ガケの周囲で危険だなと思われる箇所があるときは、市役所建設課維持係（☎24－2111内線579）または新津土木事務所（24－7111）へご連絡ください。

風水害に備えて

1 家屋は早めに補強する

雨どい
雨どいにたまったゴミを取り除き、雨水の流れをよくします。

雨戸
ガタガタする部分はクギで固定し、すき間はテープで目張りします。

板塀
板塀は、風で倒されたり、飛んでしまうことが多いので、しっかりとした支えで補強しておきます。

ブロック塀
すき間ができていたら、モルタルやセメントを塗り込みます。小さな穴も見逃さず、しっかり修理してください。

庭木
むだな枝や枯れ枝を落とし、倒れないように支柱をします。

羽目板
羽目板が1枚はがれて飛ぶと、そのあと何枚もはがれていきます。クギのゆるみをチェックし、しっかり打ちつけておきましょう。

2 地すべりが起こりそうなとき

山の中腹を階段状に造成した団地では、擁壁の水抜き穴から出る水が濁ってきたら、上の台地へすぐに避難してください。

あっ地震だ!! こんなときどうする

1 室内で地震にあったとき

①ドアを開けて、避難口を確保する
地震によって建物がゆがみ、ドアが開かなくなることがあるので、すぐ避難できるよう、グラッときたら、ドアを開けて避難口を確保します。

②頭上に注意、頭を守ろう
手近なところにある座布団などを利用しましょう。

③テーブルの下が一番安全

④窓の近くは危険
窓ガラスが割れて飛び散ったり、上階からの落下物が窓ガラスを割って入ってくることもあるからです。

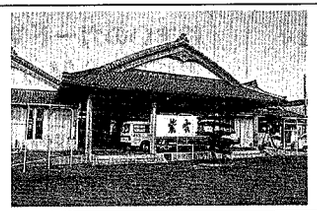
⑤入浴中だったら、湯舟の中で様子をみる
浴室の窓ガラスやタイルが割れることがあります。あわてて出ないで、湯舟の中で身をかがめ、半分くらいフタをしてしばらく様子をみましょう。

⑥トイレでは、ドアを開け様子をみる
4本柱に支えられた狭い場所なので、比較的安全です。ドアがゆがんで開かなくならないよう、まずドアを開け、中で様子をみるとよいでしょう。

⑦2階にいるときは、下に降りない方がよい
木造2階建ての場合、1階部分がくずれても2階部分に大きな被害のないことがあります。

お買物、ご用命は市内で

・自宅葬儀
・会館葬儀
・貸花環



全館冷暖房完備
㈱越後葬祭直営
葬祭会館 紫雲殿
新津市東町1丁目 ☎(24)8330